



植物調査

応用生物科学部 生産環境科学課程

3年 羽賀 舞人



目的

- 鵜ヶ池周辺に生育する植物相の把握
- 過去の文献との比較による植物相の変化、絶滅・移入状況の把握
- 外来種の侵入、環境変化による影響の把握



調査の流れ

① 鵜ヶ池周辺に生育する植物の調査



② リスト作成



③ 過去の文献との比較



過去の文献

表 1. 鵜ヶ池及びその周辺における植物調査文献

書籍名	編集者	調査期間	調査対象種	調査範囲
昭和54年度特定研究 (岐阜大学) 岐阜大学統合地周辺 の環境に関する研究 (1985年)	野村忠夫 他	1979年-1981年	高等植物	鵜ヶ池 (岐阜 大学自然保存 地) 周辺
自然保存地 (=鵜ヶ 池) 総合調査報告書	岐阜大学生物 科学研究会	1979年-1981年	陸上植物 水生植物	鵜ヶ池 (岐阜大学自 然保存地)
鵜ヶ池からみる岐阜 大学の環境 -1997年 「岐阜大学祭シンポ ジウム」記録	岐阜大学祭 シンポジウム 「鵜ヶ池からみる 岐阜大学の環境」 実行委員会	1997年	維管束植物	鵜ヶ池 (岐阜 大学自然保存 地) 周辺



調査方法

調査期間：2023年4月～2025年3月

調査頻度：月1回

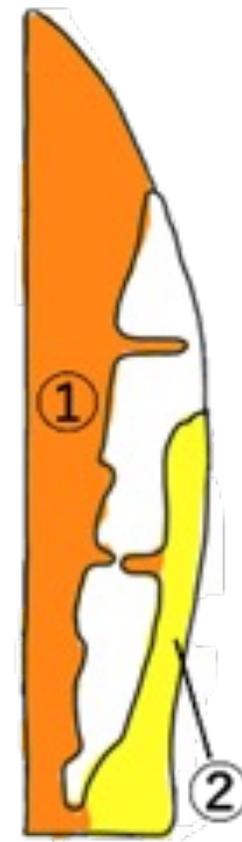
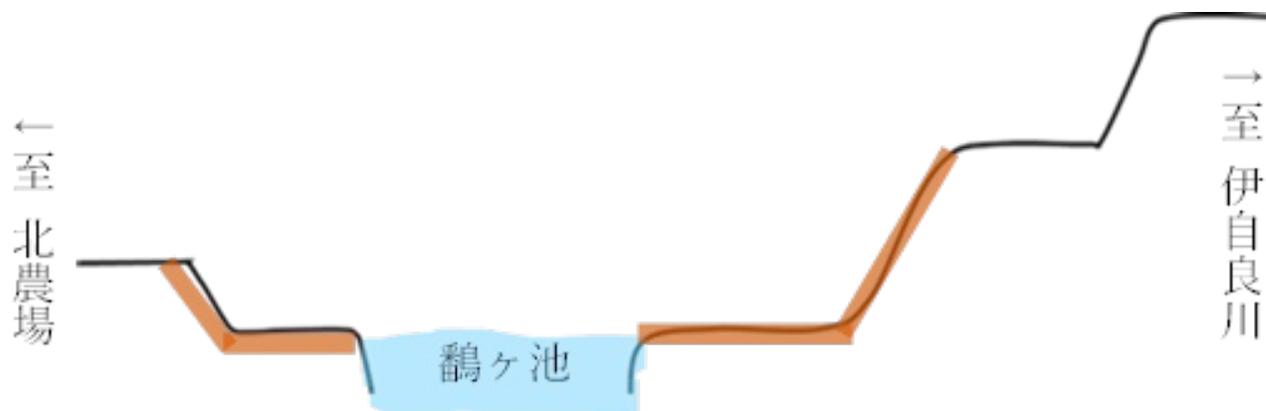
調査対象：維管束植物

(木本、草本、シダ植物含む)

調査方法

調査範囲：鵜ヶ池周辺緑地（右図①及び②）

周辺斜面（下図橙色部分および柳戸試験林への斜面含む）





調査方法

植物種の記録

- ・ 有性生殖器官（花、実、蕾、孢子）が見られたものについて記録
- ・ 余裕があればその他の植物も記録

記録方法（2023年度）

- ・ デジタルカメラ等で撮影
- ・ 写真等を元に同定
- ・ Excelに写真、和名、メモなどを記録
- ・ データの取りまとめ（リスト作成）

和名

撮影日

同定者

撮影者

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
2	和名			ミンカタシ				ツユクサ			ヘクソカズラ				ノブドウ		
3	撮影日			8月10日				8月10日			8月10日				8月10日		
4	撮影者			奥野直幸				上井			上井				上井		
5	同定者			初賀				初賀			上井				上井		
6	ボートから撮影したか			○				×			×				×		



類似種
マルバツユクサ
一葉の縁は波打つ
葉の縁が合着している

ケツユクサ
ツユクサの1品種。
花の色が茶える近。形もつ

メモ



調査方法（来年度）

記録方法（2023年度）

- ・ デジタルカメラで撮影して記録
- ・ 写真等を元に同定
- ・ Excelに写真、和名、メモなどを記録
- ・ データの取りまとめ（リスト作成）

記録方法（2024年度）

- ・ 調査記録用紙に記録（予備的に写真も撮影しておく）
- ・ 同定が難しい種については採集し、標本にする

調査結果（4～9月）

4月から9月の調査で見られた植物
143種（+未同定種 28種）

湿生植物：16種

抽水植物：7種

帰化植物：21種

栽培植物：10種



過去の文献との比較

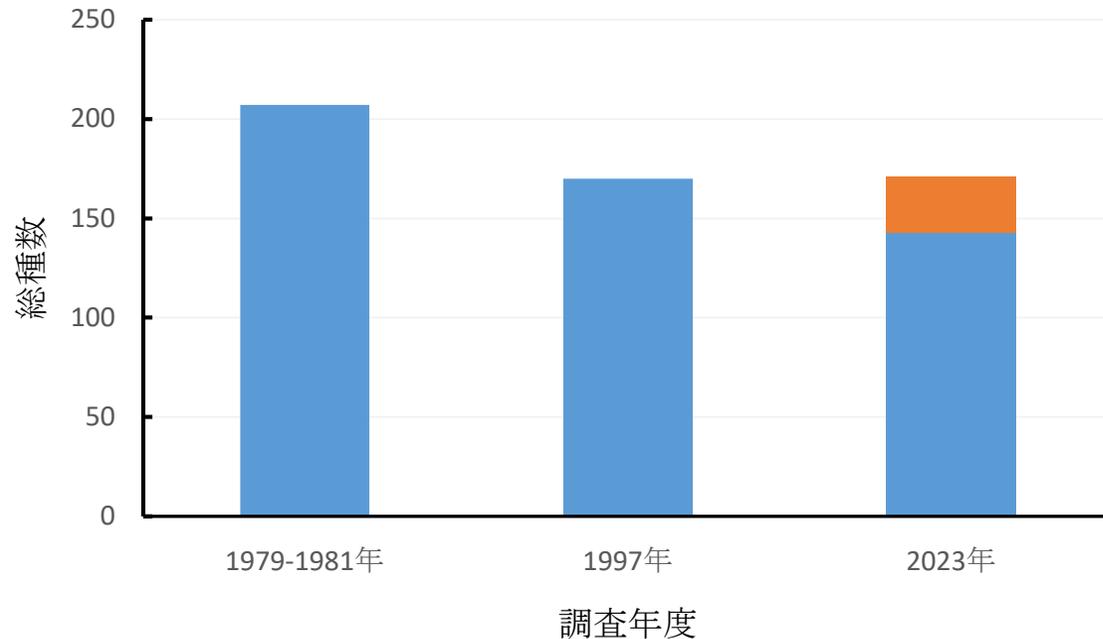


図1. 各調査で記録された植物の総種数

※1979-1981年は2文献を統合した記録種数。
2023年は未同定種28種をオレンジ色で表示している。

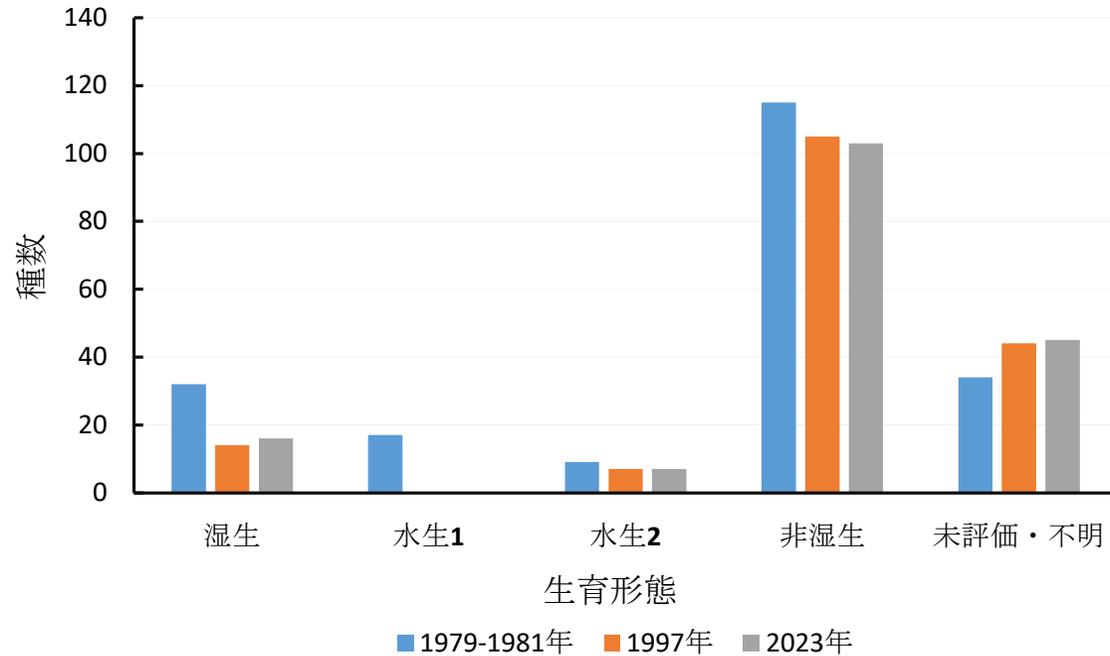
● 総種数の変化

- 1979-1981年：207種で最多
2つの文献を統合
調査期間が2年
- 1997、2023年：約170種
調査期間がその年の春から
秋にかけての半年間



種数に大きな変化はない
今後の調査により増加する可能性

過去の文献との比較

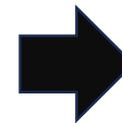


● 湿生・水生植物の種数の変化

○ 湿生植物が減少

○ 水生植物1の消失

(1979-1981年の調査でのみ記録)



乾燥化の進行

護岸浸食による
エコトーンの消失

水質・底質の悪化

図2. 各調査で記録された湿生・水生植物及び非湿生植物の種数（日本産水生・湿生植物チェックリストによる区分）

※水生1……通常の生育形として沈水・浮遊・浮葉のうちいずれか1つ以上をとる。

水生2……主に抽水状態で生育し、通常は沈水・浮遊・浮葉形とならない。



過去の文献との比較

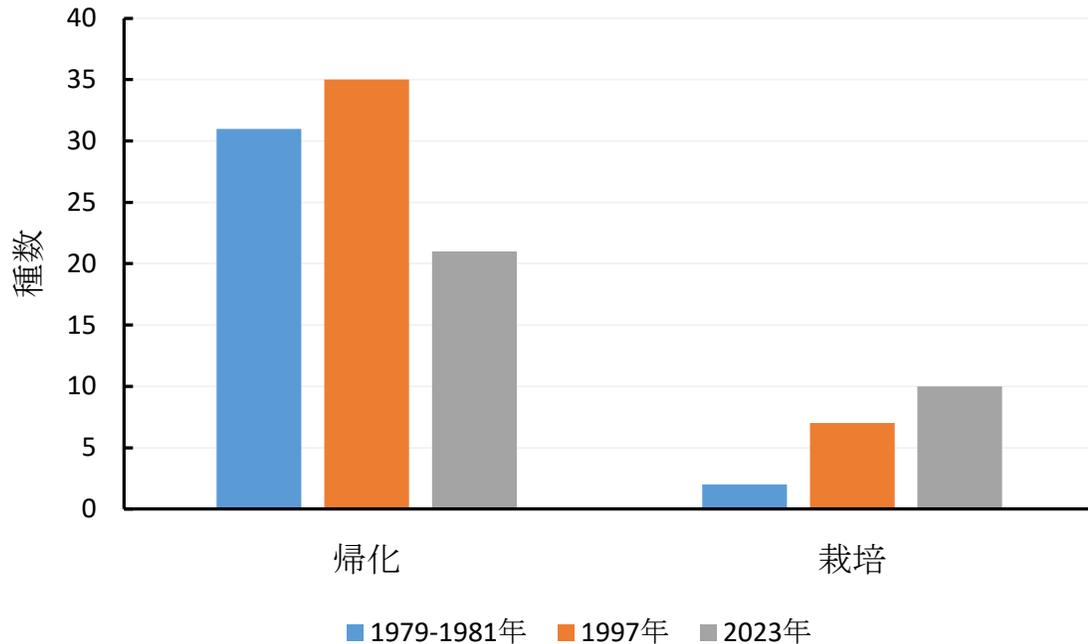


図3. 各調査で記録された帰化・栽培植物の種数
(YList2021を参考)

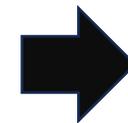
● 帰化・栽培植物の種数の変化

○ 帰化植物は減少

イネ科、マメ科、キク科が特に減少

○ 栽培植物は増加

街路樹に植栽される木本が多い



森林化の進行（草地の減少）

人間活動の影響



今後の展望

- 希少な植物の保存
- シードバンクで発芽した植物の鷺ヶ池への移植
- エコトーン（移行帯）の造成
- 移植のための水質改善、底質の改善
- 外来植物（セイタカアワダチソウ等）の駆除
- 他の調査結果との比較